

編集後記

高度成長期に整備されたインフラが老朽化し、更新の時期を迎えるとともに、激甚化する災害に備えて、機能の高度化が求められています。今月号の特集では、こうした状況を踏まえて、「インフラ再生」を取り上げ、国や日建連の取組み、最先端の建設現場の様子を紹介しました。今後はインフラの新設だけでなく、維持管理・補修の重要性が一層高まることになるでしょうが、そこでは日建連会員企業がこれまで培ってきた技術力やマネジメント力が大いに活かされるに違いありません。(N)

「ACe 建設業界 7月号」はいかがでしたか。実は私、当号より製作班に加わった新参者です。プロのエディターとしての自負はございますが、建設業界は初めて。見知らぬ専門用語を必死で調べながらの編集業務でした。しかし新しい世界を知ると、自身の視点が変わってきますね。最近では街中で目にする工事現場の仮囲いの中に興味津々です。良き一冊を皆さまにお届けできるようがんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。(I)

発行 一般社団法人 日本建設業連合会
〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-5-1
東京建設会館
TEL 03-3553-4095
FAX 03-3551-4954
URL <http://www.nikkenren.com/>

発行者 山本徳治
企画・編集 一般社団法人 日本建設業連合会
広報委員会
制作 株式会社Kプロビジョン
デザイン 株式会社コンセント
印刷 株式会社耕文社

©2018 日本建設業連合会
「ACe 建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

国土交通省関東地方整備局 関東技術事務所 「建設技術展示館」 第14期展示に関東支部が出展

国土交通省関東地方整備局関東技術事務所構内にある「建設技術展示館」第14期展示に、日建連関東支部(木村普支部長)が出展しています。

建設技術展示館は1999年度から関東技術事務所内に常設で開設され、官公庁や民間企業の建設技術者から、市民、学生までを対象として、建設技術の基礎知識から新技術まで習得できるよう工夫した展示が行われています。

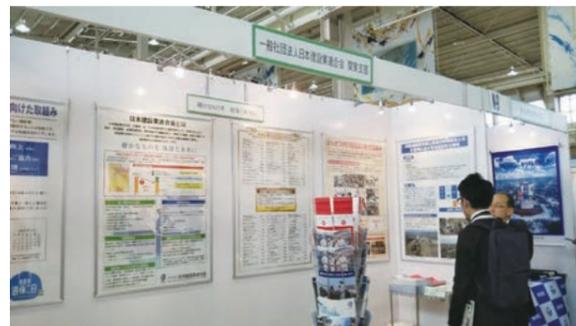
2年に1度行われている今回のリニューアルでは、建設業界の担い手減少といった建設業を取り巻く大きな課題への解決策として「担い手確保」への取組みに関する展示(関東支部会員企業10社を含め19者)と「生産性向上(i-Construction)」に視点をあてた展示(48者)を行っています。

日建連関東支部では「確かなものを 地球と未来に」と題し、日建連ならびに関東支部の活動を紹介するとともに、「担い手確保」の取組みとして「週休二日の実現」と「けんせつ小町」についてパネル等で紹介しています。

去る5月17日のリニューアルオープンの式典には、国土交通省や自治体、マスコミなど約300人が参加し、出展者を代表して木村関東支部長が挨拶を述べました。

お近くにお越しの際はぜひご来館ください。

展示期間：2018年5月17日～2020年3月31日
場 所：国土交通省関東地方整備局関東技術事務所
〒270-2218 千葉県松戸市五香西6-12-1



日建連関東支部ブース

お
知
ら
せ